

優れた抗肥満効果を発揮！新規脂肪蓄積抑制組成物

ライセンス契約を受けていただき 本発明の実用化を目指していただける企業様を求めます。

水溶性食物繊維とカルニチンを混合することで、単独摂取よりもさらに抗肥満効果が期待できます。

◆背景

肥満や内臓脂肪の蓄積を抑制するために、食物繊維やカルニチンなどを有効成分としたサプリメントや食品などが開発されています。食物繊維はコレステロールや炭水化物の吸収を抑制する効果があることが知られていますが、直接的な肥満抑制効果については不明です。またカルニチンの摂取により細胞レベルでエネルギー代謝効果がある事が知られていますが、固体レベルでのエネルギー代謝亢進による脂肪燃焼効果は不明です。これらのことから、直接的な抗肥満効果が期待できる組成物が求められています。

◆発明概要

発明者らは水溶性食物繊維であるグァーガム、タラガムをL-カルニチンと組み合わせることで、抗肥満効果が得られることを見出しました。

特許(1)：グァーガムとカルニチン摂取による抗肥満効果

高脂肪食+カルニチン0.5%、グァーガム5%

特許(2)：タラガムとカルニチン摂取による抗肥満効果

高脂肪食+カルニチン0.5%、タラガム5%

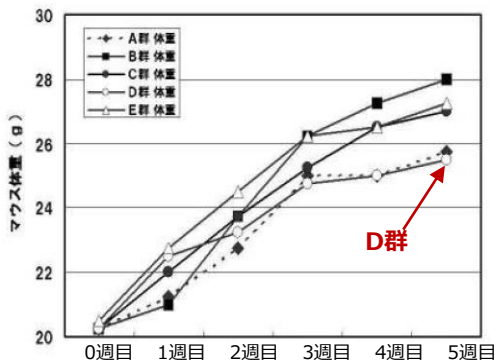
◆実施例等

マウスをA~E群に分け、抗肥満効果を検証した

特許(1)

マウスに与える食事

- A群:通常食
- B群:高脂肪食
- C群:高脂肪食+カルニチン
- D群:高脂肪食+カルニチン+グァーガム
- E群:高脂肪食+グァーガム



特許(2)

マウスに与える食事

- A群:通常食
- B群:高脂肪食
- C群:高脂肪食+カルニチン
- D群:高脂肪食+カルニチン+タラガム
- E群:高脂肪食+タラガム

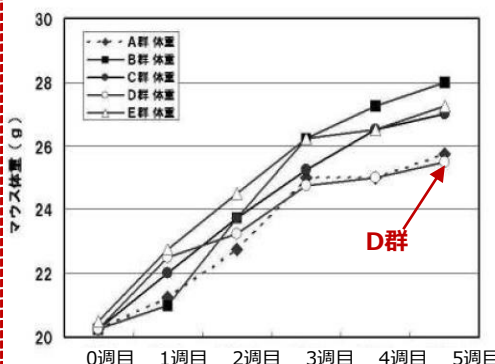


Fig.1 マウスの体重変化

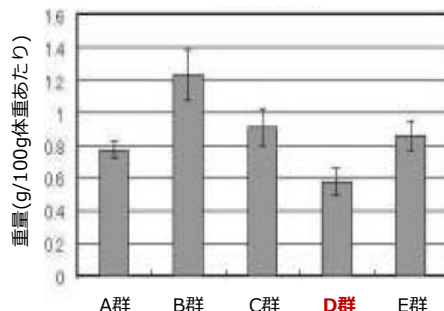
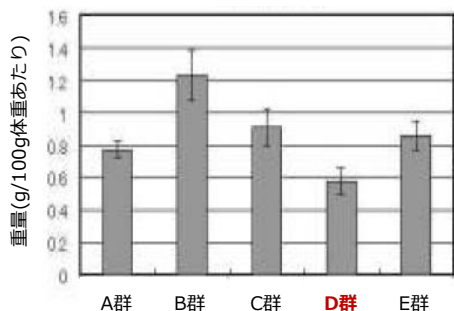


Fig.2 本発明の腹膜後方脂肪に関する抗肥満効果
5週間後、A~E群のマウスの腹膜後方脂肪を採取して、重量を測定した。

Fig.1の結果

特許1、特許2と共に、高脂肪食+カルニチン+グァーガム(特許2はタラガム)を混合して摂取させたマウス(共にD群)の**体重増加は通常食(A群)のマウスと同程度**だった。

Fig.2の結果

特許1、特許2と共にD群のマウスの**脂肪重量は通常食(A群)のマウスと同等以下**だった。

◆特許情報

【特許番号】

(1)特許第6032662号

(2)特許第6032688号

【発明の名称】

脂肪蓄積抑制用組成物

【出願人】

国立大学法人千葉大学

【代表発明者】

江頭 祐嘉合

◆応用が期待される分野

- ・ 機能性食品・飲料
- ・ 医薬組成物
- ・ 動物用飼料

◆可能な連携形態

- ・ 実施許諾契約
- ・ オプション契約(技術検討のためのトライアル契約)

◆お問い合わせ先

学術研究・イノベーション
推進機構 (IMO)

知財・技術移転戦略部門

TEL: 043-290-3831

FAX: 043-290-3519

E-mail: beo3566@office.chiba-u.jp



CHIBA UNIVERSITY